

知識・経験を備えた行政のゼネラリストとして
地元、岡山県の魅力向上を支えていく。



岡山県庁
総務部 人事課

南 優成 さん (経済学部 2019年卒業)

近畿圏にある日本有数の大学として興味を持っていました。留学制度や資格講座をはじめ、学生の成長を支える仕組みや制度が充実していたため、立命館大学なら将来の進路が見つかると思いました。印象に残っているのはゼミナールでの研究活動です。3回生の夏から「自動車産業の労働生産性の要因分析」にグループで取り組み、質の高い論文を仕上げることができました。12月に開催されたゼミナール大会で入賞したこともよい思い出です。研究や試験勉強を通して得た逆算的な思考や成果を導くための計画性は、業務の効率化やスピード感のある仕事の進め方にもつながっています。現職ではさまざまな分野の業務に触れることができ、今後は、そのなかでも自身の最も力を発揮できる分野を模索しつつ、スペシャリストとして地域に貢献することを目標にしています。皆さん、今という時間を悔いなく過ごし、進むべき道を見つけてください。

2015年、経済学部入学。2018年12月、「自動車産業の労働生産性の要因分析」の論文でゼミナール大会入賞。2019年3月に卒業の後、4月、岡山県庁に入庁し、保健福祉部子ども家庭課に配属される。2020年4月から2年間の岡山県美作県民局勝英地域総務課勤務を経て、2022年4月に総務部人事課へ。現在に至る。

語学力、異文化理解力を強みに海外と円滑に業務。
海外駐在希望をかなえるため、さらなる勉強中。



旭化成株式会社
モビリティ&インダストリアル事業本部 企画管理部 コンパウンド企画室

荒川 響歌 さん (経済学部 2019年卒業)

今の業務のひとつは米国販売会社の事業管理です。米国版社で作成された予算案に対する助言やサポートなどを行っています。データを基に米国の会社を動かすことのできるやりがいのある仕事です。大学ではデータ分析を学ぶゼミナールに所属し、研究や論文執筆に注力しました。ゼミナール大会では、優勝を目標にチームの環境作り尽力した結果、それぞれが自分の役割に責任を持って取り組めるようになり、優秀賞を受賞しました。目標への課題を見つけ、対策を考えて行動する力、チーム内での自分の役割を考える力は現在の仕事でも活かされています。また、留学や国際寮でのレジデントメンター経験で身につけた語学力と異文化理解力によって、海外との業務をスムーズに進められるのも私の強みです。入社10年目までには経済成長の著しい国で駐在を経験したいと考えているため、中国語や英語のレッスンを受けて、語学力にさらなる磨きをかけているところです。

2015年、経済学部入学。2016年8月から約8カ月間、カナダのアルバータ大学に留学。2017年夏、ICNビジネススクールのサマースクールに参加。2019年、旭化成株式会社に入社、営業担当者として、技術者と共に新製品の開発にも携わる。現在は、米国販売会社の事業管理をはじめさまざまな業務に従事。管理会計の知識を身につけるため、簿記も勉強中。



経済学部の入口をのぞいてみよう

「経済学ってなんか難しそう」「経済学部で学びたいな!」に変えることができるきっかけとなる、模擬講義動画を掲載しています。このパンフレットを読んでいただき、少しでも経済学に興味を持った方は、経済学の入口に一步踏み出してみませんか?

www.ritsumeai.ac.jp/ec/lecture/



入試情報

入試の最新情報は「立命館大学 入試情報サイト」をチェック

ritsnet.ritsumeai.jp/



経済学部ホームページ

ホームページを一新しました

www.ritsumeai.ac.jp/ec/

*感染症対策をおこなった上で撮影しています。また掲載している写真は2019年度以前のもも含まれます。

立命館大学 経済学部

College of Economics
Ritsumeikan University

WHY ECONOMICS?



高校に入試説明会や模擬授業に行くたびに感じてしまう「違和感」があります。

それは、多くの高校生のみなさんが、経済って自分たちとは関係ない別世界のことだと思っている「ふし」があることです。多分、為替とか貿易とか株価とか景気とか、そういうのが経済って思っているのではないのでしょうか？ だから経済って、ニュースとかに出てくる話で、自分たちには関係ない、と思ってしまうのではないのでしょうか？

実は、それは単なる思い込みなのです。確かに、為替、貿易、株価、景気というのは経済に関連することです。でもそれだけではないのです。みなさんが小さいころから過ごしてきた生活の中に、経済は息づいているのです。

たとえば、みなさんは小学生ぐらいから、月*円という形で、おこづかいをもらっているのではないのでしょうか？ もらった

金額の中で、食べ物や飲み物や文房具やコスメなんかを買っているのでは？ そのときに、自分にとって要らないものや、好きでないものを買ったりしないですよね？ とてもおこづかいではまかなえないような、高額なモノも買ったりしないはず。逆に、お小遣いの範囲内で手に入るモノの中で、欲しいモノを買っているのではないですか？

何を当たり前のことを書いてんの、と思っているかもしれません。しかし、このようなおこづかいのやりくりをすることこそ、立派な経済活動なのです。経済は英語でEconomyといいますが、そもそも語源は「家計をやりくりすること」です。

だから、みなさんは小学生のころから、経済活動に「従事」しているのです。会社のさまざまな活動も、国の色々な活動も、結局は、おこづかいをやりくりすることと変わりません。会社では、手持ちの資金

の範囲内で、どんな商品をどれだけ作るかを考え、そのためにどれだけ人を雇って、どんな規模の工場を建てるかを考えます。国だって税金で集めた予算の範囲内で、どんなことにどれだけお金を使うかを決めています。そういう意味では、おこづかいの使い方を考えるみなさんと同じですよ、会社も国も。

さて、みなさんのおこづかいの話に戻りますね。みなさんはおこづかいの前借りという経験はありませんか？

どうしても欲しいものがあるけど、手持ちのお金では少し足りない、そこで来月分のおこづかいを前借りするって経験はありませんか？ 今月使えるお金が増える分、来月使えるお金は少なくなりますよね。こういう時って立て替えてもらうことが多いので、ちゃんと「**円前借りしました。」ってメモを残すように親御さんに言われたことはありませんか？

これと同じことを国も行っているのを知っていますか？ 国は、今の国民のために使うお金を確保するため、将来の国民からお金を前借りしているのです。メモに当たる借入証を債券といいます。このような債券は国が発行しているので国債と呼ばれます。

みなさんはお年玉を親御さんや祖父母や親せきの人からもらっていると思います。そして、もらったお年玉を貯金しておくという人も多いと思います。貯金するってことは、今、手持ちのお金があるのにあえて使わないってことです。人によっては、親御さんが管理されている場合もあるでしょうね。

じゃあ貯金したお年玉はいつ使うのか、それは、推しのアイドルのコンサートチケットが当たったり、友達とテーマパークに行くことになったときではないでしょうか？ つまり、今、手持ちのお金を使って何かを買わずに、将来、使う機会あるときに

使うわけです。おこづかいの前借りの逆パターンです。

これと同じことを国が行っています。おじいさんやおばあさんに聞いてみてください。「年金ってもらってる？」って。

おじいさんやおばあさんは、若いときに稼いだお金の一部を国に預けて、その時に使わずに、将来（老後）に使うためにとっておいています。これが年金です。お年玉を貯めて、いざという時に使うのと基本的には同じなのです。

このように、小学生のころからみなさんが経験していることと、企業や国が行っている経済活動って、根っここの部分は同じなのです。みなさんが、おこづかいを使ってモノを買ったり、前借りしたり、お年玉を貯金することと、政治経済の教科書の内容とが結びついていなかっただけなのです。

ただし、お金が絡んでいる経験だけが

経済ってわけではありません。経済活動って結局は意思決定なのです。なので、経済学は主に経済活動に関する意思決定の結果を研究する学問といっても間違いはありません。

グループワークや掃除当番などのチーム活動で、さぼるクラスメートをどのように対応したらよいのか？、クラスの委員長や生徒会長をどのような形で選出するのがよいのか？

といったものも、経済学と関係していて、研究がなされているのです。

どうでしょうか？ 自分たちの身近な経験が、経済活動そのものだということ、少なくとも経済活動と関連しているという事に納得してもらえたでしょうか？ 納得してくれて、もしほんのちょっとでも面白そうだった人は、ぜひ、人々の意思決定を分析する経済学部を、進路の一つの選択肢にしてくれば幸いです。



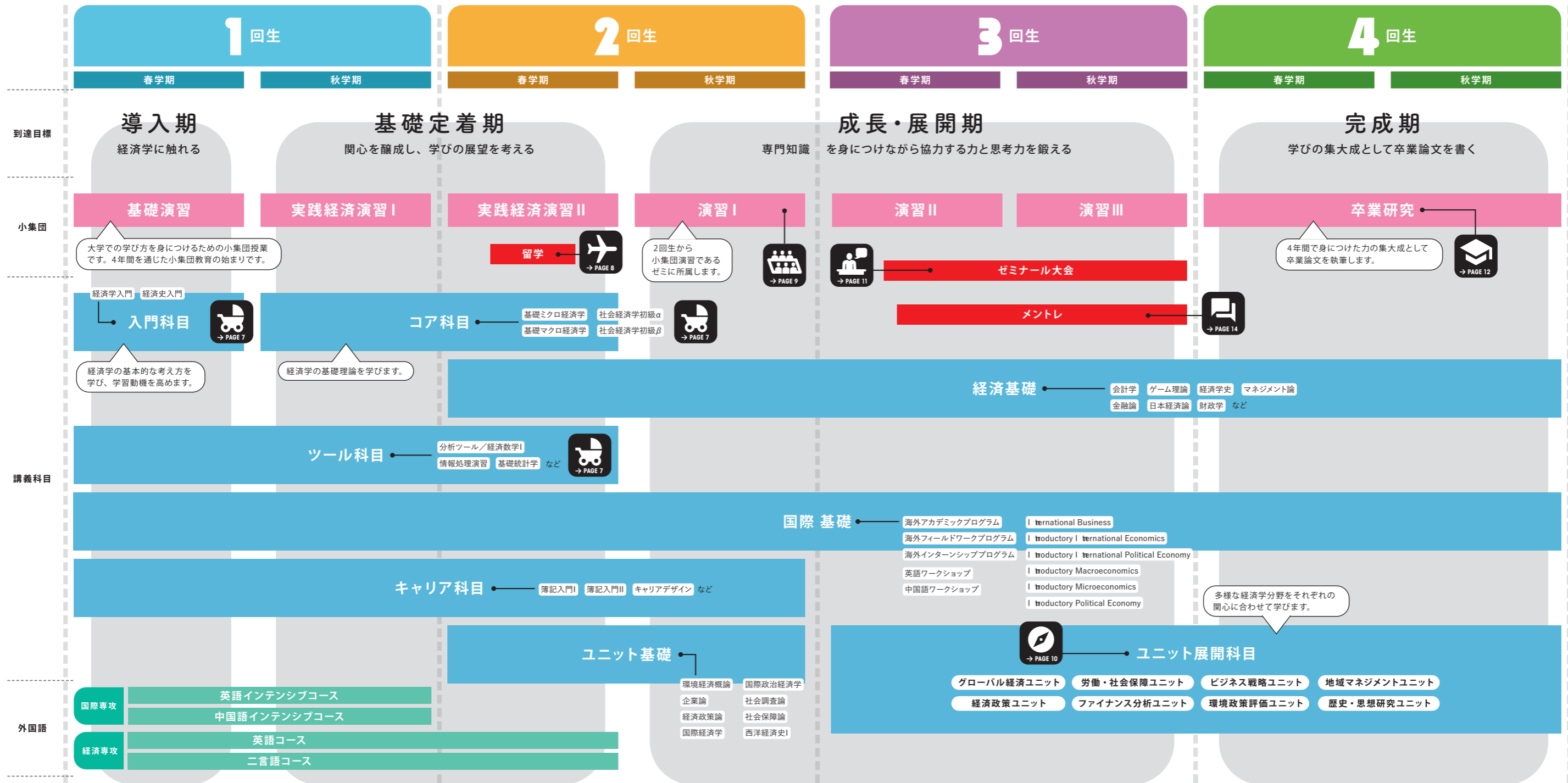
WHY ECONOMICS?
経済学部教員が、受験生のみなさんにとって身近なさまざまな謎「？」を経済学で読み解くエッセイを掲載していますので、ぜひご覧ください。



経済って、みなさんにとっても身近なコトなのです。

経済学部 の 4 年間

「多様性理解力」と「経済センス」を磨き、
国際社会で活躍できる力を培う。



大学生生活の基礎を作る

大学生生活にスムーズに移行できるよう、経済学部での学び方や経済学の基本的な考え方、外国語を集中的に学びます。小集団での授業を通し、大学生として主体的に学ぶ姿勢を身につけます。

国際専攻

Major in Global Studies

外国語 + 経済学教育 + 海外経験 で、

世界で通用する
国際人を育成する。

国際化した経済・社会に対する洞察力・分析力を養うべく、独自の外国語プログラムを展開し、海外留学や海外フィールドワークの機会を提供します。外国語教育では英語もしくは中国語を選択し、入学直後から現地で使える外国語を集中的に学ぶことができます。

外国語コース

英語インテンシブコース	英語
中国語インテンシブコース	中国語 + 英語

VOICE

経済の歴史を学んでおくことも重要で

国際専攻での「英語・中国語」は、留学先での学びやそのために必要な資格取得の基礎力を少人数クラスで学びます。さらに、2回生以降で、「外国語」を通して、「経済学」を学ぶ授業が多くあり、1回生で学ぶ「英語・中国語」の基礎はそれらの学びにも活かされます。英語で「ミクロ経済学・マクロ経済学」の基礎を学んだ経験は、英語で書かれた文献を読むときに役立っています。

ゼミでは、プログラミングソフトを用いてデータ分析を行っています。「情報処理演習」「基礎統計学」で学んだスキルや、プログラミングを通して直感的な理解をした後、数式を通してその理論的背景を学ぶという姿勢が、ゼミでの活動に活かされています。

もっと学んでおけばよかったのは「経済史入門」です。経済理論の学びを深めるほどに、理論の背景にある「経済の歴史」を知ることの重要性を感じるようになりました。

さらに、大学入学後「公共経済学」という分野を知り、経済学の知見から社会を良くするための政策立案をしたいという目標を持つようになりました。今は日々の学部の講義を通して学問的な基礎知識を定着させるとともに、大学内の講座を利用して、英語の資格取得を目標とした学習やゼミでの活動、ゼミ外の自主的な勉強会を通して専門性を高める努力をしています。これまでの学びで得たものを、今から始める研究に生かしていきたいと考えています。



神代 知紀 さん
経済学部3回生
兵庫県・神戸龍谷高等学校出身

経済専攻

Major in Economic Studies

理論 + 現実 + 実践 で、

現代社会の諸問題を
解決する人材を育成する。

社会生活の基盤となっている経済活動のメカニズムや市場の法則を解き明かし、より豊かな社会を創造していくために必要な考え方や手法の基礎を学びます。経済学を中心に法律や経営など他の社会科学や教養までを段階的かつ総合的に学ぶことができます。外国語学習では、英語コースもしくは二言語コースを選択し、外国語運用能力を高めます。

外国語コース

英語コース	英語
二言語コース	英語 + 初修外国語*

*中国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、朝鮮語から選択

VOICE

助け合える仲間を作り、基礎をしっかりと学ぼう

1回生で学んだ「基礎ミクロ経済学」は、経済学部の専門科目の基礎となる科目だと思います。発展科目の「基礎マクロ経済学」や「国際経済学」、3回生から履修可能な「産業組織論」などを学ぶ際、「基礎ミクロ経済学」で学んだ内容、考え方が使われるからです。今、ゼミで学んでいる行動経済学やゲーム理論は、合理的に行動する人間を想定していません。合理的ではない行動を理解するためにも、「基礎ミクロ経済学」を理解しておくことが重要です。

「情報処理演習」や「基礎統計学」も大切です。「計量経済学」など、分析を行う科目はもちろん、卒業後も使える基礎的な分析方法やExcelの使い方が身につく授業だからです。

高校での英語の授業は受験対策として読む力と書く力をつけることが中心でしたが、大学の英語の授業はリスニングとスピーキングが中心でたのしく学ぶことができました。また、外国語の授業は少人数クラスで受講している学生同士が交流できる機会が多く、お互い助け合い高め合える友達できました。

入学してから経済学部で授業を受講するにつれて、企画経営に興味を持ち始めてマーケティング論や企業論など経営に関する授業も受講しています。ゼミでは研究を進めるうえで必要な実験用のプログラムを作成しています。今後、研究を行い卒業論文を作成することで研究成果をまとめたいと考えています。



三好 結月 さん
経済学部3回生
香川県 高松第一高等学校出身

基礎演習

経済学部では、一日でも早く大学での学習に慣れてもらうために、基礎演習という少人数クラスを用意しています。このクラスでは、レポートや論文作成に必要なスキル、たとえば、図書館の使い方やアカデミックライティングを、共通教科書を用いつつ学ぶ機会が提供されています。加えて、各クラスには、オリター*と呼ばれる上回生がサポーターとして大学生活全般を支援しています。



実践経済演習I

上記の「基礎演習」で培った成果を、2回生「実践経済演習II」や「演習I」(ゼミ)、3回生のユニットにおける系統履修につなげていく橋渡しとしての科目になります。具体的には、「アカデミックライティング」《further study 経済学入門》《統計分析》《英語・中国語ワークショップ》《PBL (Project Based Learning)》《文献輪読》《プレゼンテーション》など、授業メニューごとのクラスに分かれて履修を行います。



オリター制度とは？

立命館大学は、学生相互の支援「ピア・サポート」が盛んな大学です。その中でも、オリター制度は、学習や学生生活の面から、先輩である上回生が新入生に支援を行う制度です。全国、そして世界から学生が集まる大学だからこそ、互いに学び合うことのできる立命館大学の伝統として根付いています。新入生の仲間作りのサポートを始め、学習や学生生活全般に関する相談に乗ってくれるので、スムーズに大学生活をスタートすることができます。



経済学入門

1回生になってまず受講するのが、経済学の基本的な考え方を学ぶ「経済学入門」です。この講義は、経済学の基本的な考え方を学ぶことを通じて、経済学の学問的発展に尽くした先人たちの偉業を知るとともに、現実の経済活動に興味を持てるようになることを目指すものです。



基礎ミクロ経済学・ 社会経済学初級α

経済学部生として、最低限身に付けなければならない経済学の基礎理論を系統的に学ぶ科目です。経済学部では、「コア科目」と呼ばれる授業であり、2回生からは「基礎マクロ経済学」「社会経済学初級β」(P.4参照)の履修を行うことができます。



情報処理演習

情報処理演習は大学での学習を円滑に行うために必要となる情報処理関係の基礎知識を体系的に学び、経済統計分析の基礎知識を身につけるための授業です。実際にパソコンを操作する実習形式の授業で、パソコンの基本的な使い方やデータ処理技術を習得します。



基礎統計学

統計資料の利用は、私達が現実の経済社会を把握する上で、重要な手段です。それぞれの統計資料は固有の特徴をもっています。実際に接する統計資料によって何が得られるかを理解するためには、与えられた統計を眺めるだけでなく、統計の利用の重要性と限界を認識することが必要になります。本科目は、そういった新聞・雑誌・書籍等で用いられる統計資料の読み方と利用方法の基礎を学ぶことを目的とした授業です。



海外へ視野を広げよう

1回生で身につけた語学力を活かし、海外に視野を広げ、経験を積んでもらう時期です。経済学部では多様性を理解する力や国際感覚を身につけるための機会を多く用意しています。



経済学部生のための独自留学プログラム

海外アカデミックプログラム

海外の大学などで外国語を集中的に学ぶとともに、現地経済事情について、外国語で学ぶことができます。プログラムへの参加を通じて国際分野で通用するコミュニケーション能力や専門性を身につけます。

派遣先国	派遣先機関
オーストラリア	ホーソン・メルボルン英語学校
ニュージーランド	マッセイ大学
アメリカ	ポートランド州立大学
中国	大連外国語大学
中国	東北財経大学

*派遣先はすべて2023年度の予定です。

海外フィールドワークプログラム

経済学部で学んだ知識を活用し、海外で調査・研究・発表に取り組みます。現地の人々と触れ合いながら、プログラムごとに設定されるテーマ（地域格差是正やツーリズム、環境と開発など）に関するフィールドワークに取り組みます。

派遣先国	派遣先機関
タイ	タイ国立開発行政研究院 他
英国	JETRO（日本貿易振興機構）、 在英日本大使館 他
中国	上海対外経貿大学 他

海外インターンシッププログラム

日本企業・団体の海外オフィスや現地企業で実施するインターンシップです。多様な背景を持つ社員との就業体験や交流、世界の最前線のビジネス経験により、海外で働くことについて体験的に考えることができます。

派遣先国	派遣先機関
アラブ首長国連邦	日系・現地石油開発会社

VOICE

海外で働くことも視野に入るようになりました

自分を成長させたい、英語力を向上させて将来に活かしたいと考え、ニュージーランドのマッセイ大学へ留学しました。授業では、自分の考えをわかりやすく伝えるにはどうすればいいか試行錯誤を重ね、英語力はもちろん、粘り強く伝える力、積極的に発言する力もついたと思います。

ホストファミリーにもニュースを見ながら質問したり、今日の出来事や日本のことを話したり、思いを英語で伝える努力をしました。失敗を恐れず挑戦する力がつき、消極的な自分を少し克服できたと感じています。

私は公認会計士を目指しているのですが、企業訪問を通して日本企業との違いを実際に見ることができたのは貴重な経験でしたし、現地の経済政策や会計に関する政策を日本と比較することによって、日本の制度をよりよくするには何が必要なのかを考える良い機会にもなりました。

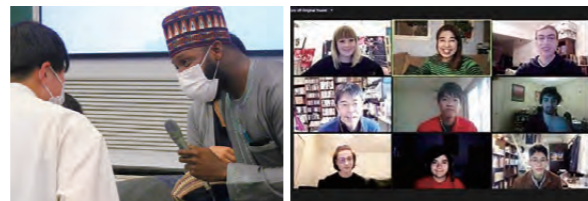
公認会計士はグローバルに働く機会のある仕事です。留学によって海外勤務も視野に入るようになり、将来の選択肢が増えたと感じています。在学中に資格を取得できるよう、勉強に励んでいるところです。



永山 莉子 さん
経済学部2回生
鹿児島県立鶴丸高等学校出身

G-ALPs イベント

G-ALPs (P.15 参照) の一環として、留学生との国際交流、様々な国際キャリアで活躍する方の講演などのイベントを多数開催しています。



【過去の企画実績】

- 海外勤務と国際機関への道：大学生活をどう過ごすか
- アフターコロナ時代の留学のリアル
- グローバル系コンサルファームの仕事
- 中国からの留学生との交流：多文化理解とコミュニケーション
- 世界からみた日本のヒューマンライツ：メディア・女性・入管・貧困
- 新卒から新規事業を立ち上げるという生き方
- 気候変動に適應できるか
～カーボンニュートラルに向けた滋賀県の挑戦
- データ分析と国際協力

ゼミで経済学を探検する



ゼミ活動を通して、自ら課題を発見し、主体的に問題解決に取り組む力を磨きます。

ゼミ紹介 #01 | 寺脇ゼミ

環境、歴史文化、健康の「見えない」価値をお金で測る

私たちが暮らす社会の中には、「価格」がついていないけれども「価値」があるものがありますよね。例えばきれいな空気や美しい山の景観、歴史的な街並みやお祭り、あるいは人間の健康や命そのものなどがあげられます。これらは一般に世の中で売り買いされていないため、価格がつかず、その価値がよくわかりません。それらをそのままにしておくと、この経済社会の中ではその「見えない」価値が軽視されてしまい、社会をより良くしようとする判断の基準から抜け落ちてしまう危険性があります。

そこでゼミでは、これら環境や歴史文化、健康などの価値をお金の単位で測り、その価値が適切に反映さ

れる社会の仕組み作りを考えています。「演習I」ではまずその考え方や分析の手法を学び、「演習II」ではそれらの手法を使って研究活動を行います。今年度はサステナブルホテル、無添加食品、滋賀の伝統産物である政所茶、廃校カフェの価値を明らかにする研究に取り組んでいます。そして「演習III」では、新たに需要が期待されるものを自ら生み出し、地域と連携しながらその価値を測るプロジェクトを立ち上げます。昨年度はびわ湖の葦(ヨシ)を使ってストローを作り、その価値を計測しました。



寺脇 拓 教授から
受験生のみなさんへ

経済学は社会の幸福を追求する学問ですので、社会の幸福に関係するものはすべて経済学のテーマになりえます。ぜひ経済学部で自分の興味のあるテーマを見つけ、ゼミの中で存分に研究していただきたいと思います。

ゼミ紹介 #02 | 小田巻ゼミ

ベーシックインカムは くらし・働き方をどう変えるのか

ベーシックインカム (BI) とは、国が全ての個人に無条件で毎月、一定額のお金を配るという新しい所得保障制度の構想です。「新しい」と言っても、古くは1700年代から提唱されてきました。格差の広がりや技術革新に伴う失業を目の前にして、今再び世界各地でBIの検証が進められています。BIの導入にあたっては、「財源はどうするのか」「現行の所得保障制度に代替できるのか」「皆が働かなくなるのでは」と、様々な疑問が浮かび上がります。

2回生の「演習I」では、BIをテーマにした本を読み、そこから得た気づきや問いを基に、私たちの当たり前を問い直していきます。3回生では

いよいよ本格的な研究活動が始まります。成熟した研究を行うためには、自身や他者の研究について意見を交わすことが大切です。研究交流として、2022年度は、「演習II」で、関西学院大学のゼミとのポスターセッション、琵琶湖唯一の有人島である沖島で合同フィールドワークを実施しました。「演習III」ではグループごとに論文を執筆し、学内や学外ゼミナール大会に出場しました。

このようにゼミ活動では、他ゼミ・他大学との研究交流の機会も数多く用意されています。



小田巻 友子 准教授から
受験生のみなさんへ

自分や社会にとって探求すべき価値のある「問い」を立てられるかどうかが一番苦心する部分であり、研究の醍醐味でもあります。身の周りの様々な事象に関心を持ち、仲間とともにあなただけの問いを見つけてください。

プロフェッショナルを目指す

多様な経済学分野を自らの関心に合わせて、深く学び、専門知識や論理的思考力を身につけます。



ユニット制 科目をパッケージして関心分野を体系的に学ぶ

関連性を持つ科目をパッケージ化したユニットで学び、自らの学びをデザインします。ゼミナールでの学修・研究と連動させながら学ぶことができます。研究テーマによっては、複数のユニットにまたがる学びが望ましい場合もあります。

歴史・思想研究ユニット

現代から将来を見渡す俯瞰的な視座を身に付けるため、経済史、経済学史を学び、歴史的な事例や経済学論争の考察を通じ、現代経済の諸問題の根源を考察します。

社会思想史 東洋経済史I
西洋経済史II 東洋経済史II



グローバル経済ユニット

国際間の経済関係と各国経済の多様性を理解し、グローバルな視野に立って国際的諸課題を考察し、解決提案できる力を養います。

アメリカ経済論 国際貿易論
国際開発プロジェクト・マネジメント 多国籍企業論



経済政策ユニット

経済政策に関わる理論、制度を学ぶとともに、データ分析や事例研究を通じ日本経済が抱える様々な問題の本質を洞察する力を養い、俯瞰的かつ理論的な視点から政策課題の解決策を提案できる力を養います。

経済成長論 貨幣・信用論
公共経済学 地方財政論



地域マネジメントユニット

市場経済では解決が難しい地域・コミュニティの課題について深く知るとともに、国土形成計画から地域振興まで、総合的視点に立った課題の解決方法を学びます。

観光経済論 都市・地域マネジメント
地域経済学 農業経済論



WHY ECONOMICS?



それぞれのユニットを
身近な「なぜ?」とともに紹介

労働・社会保障ユニット

人口減少と少子化・高齢化が日本社会にもたらす影響を踏まえながら、労働政策や医療政策、介護政策、年金政策などの社会政策に関わる諸課題を分析し、その解決手法について考察します。

医療経済論 地域福祉論
企業と雇用システム 労働経済論



環境政策評価ユニット

環境・公害問題の科学的な理解に加え、環境の経済社会的価値や環境政策の効果を評価するための分析手法の修得など、政府の環境・資源政策や企業の環境マネジメントに活用できる文理総合的な学びを行います。

環境経済学 環境法
環境経済評価論 食糧経済論



ファイナンス分析ユニット

資金の調達・運用・投資戦略などの理論を理解するとともに、金融市場の制度や政策に関する知識、企業財務や金融市場を分析する技術など、金融に関わる業務に必要な知識と技術を学びます。

金融市場分析実習 コーポレートファイナンス
行動経済学 リスク管理論



ビジネス戦略ユニット

経済学的視点から企業の意思決定理論を学ぶとともに、マネジメント、会計、法律などの多様な観点から経営戦略、企業組織をめぐる諸課題を分析します。

企業財務論 産業組織論
財務諸表論 組織と制度の経済学



ゼミナール大会 理論を身につけ、実践を通して研究成果を発表する

学生同士の知識の深め合いや研究意識の向上、また学部全体での研究力の向上を目標に、毎年12月に開催される学術イベントです。毎年200～300チームが参加します。日ごろの調査・研究の成果を論文としてまとめ、その内容についてプレゼンテーションと合わせてコンテスト形式で評価されます。それぞれの発表の後には質疑応答の

時間も設けられ、会場は熱気あふれた雰囲気になります。自らが設定したテーマについて徹底的に研究し、多くの人の前で成果を報告することにより、社会で役立つ問題発見・分析・解決の能力、プレゼンテーション能力を養います。



STEP 1：分科会（予選）

200～300チームが参加し
調査・研究成果を競います



STEP 2：優秀者発表会

選ばれた約10チームが
プレゼンテーションを披露します



STEP 3：表彰式

調査・研究力、プレゼンテーション力に
秀でた発表が選ばれます

過去ゼミナール大会テーマ例

クールノー競争下における耐久財のジレンマの検証

コンストラクティビズムの有用性

ブルデュ階級論から見た現代教育問題に関して

若年層の投資が進まない要因と仮説

育児と出生率による年金の変化

フリマアプリの発展による消費行動の変化

日本人投資家と外国人投資家による日本株式市場と
政府による為替介入の理想像

購買意思決定におけるロコミの影響について

原子力発電の経済性を問う

—原子力発電は経済的か?—

タイヤ業界のサブスクリプション戦略についての分析

戦争とディズニー
～第二次世界大戦を題材としたディズニーアニメーション～

持続的な棚田オーナー制度による地域資源の保全

現代社会におけるSNS広告の可能性について

商品の価格と評価が消費者行動に与える影響について

VOICE

業界の特性に着目し 理論と現実との 整合性を検証



白石 泰朗 さん
経済学部4回生
北海道・札幌第一高等学校出身

ゼミナール大会では、「合成ゴム業界において、なぜ企業は『質』に特化して生産を行っているのか」というテーマで研究発表を行いました。ゼミで学んだゲーム理論を用いて、高品質製品に特化した生産を行う状況が起きる条件を導出し、現実との整合性を検証したものです。

テーマ設定からプレゼンテーションまで、チームで取り組めたことは大きな経験でした。班長として、個々の能力に合った役割分担を行うこと、人を動かすことなど、多くを学ぶことができました。

プレゼンテーションの準備段階でもチームで協議を重ねました。スライド担当のメンバーは、比較したことが直感的にわかるよう工夫、発表担当の私は、専門用

語を極力減らして平易な言葉で聞き手がイメージしやすくなるよう配慮しました。「聞き手ファースト」を目指し、友人、家族、先輩にもアドバイスをもらい、修正を繰り返しました。本番当日は、緊張はしたものの落ち着いて発表することができました。聞き手を意識し、筋道の通った発表を準備できたことが、自信にも繋がりました。

質疑応答でつまってしまった時も、他のチームメンバーがサポートしてくれました。その結果が優秀賞という形で認められたことをとても嬉しく感じています。

大会に向けての情報収集で、情報技術が企業戦略にも影響を及ぼしていることを知って興味を持ったIT業界の企業に就職予定です。情報技術を活用し、企業や社会をあるべき姿にしていきたいと考えています。

4

回生の学び

培った力で未来へ羽ばたく

4年間の学びの集大成として、卒業論文を執筆し、社会に羽ばたく準備を行います。



卒業研究

4年間で身につけた力の集大成

卒業研究では、みなさんの興味関心に沿ったテーマを選定し、卒業論文を作成していきます。洞察力を用いて、より良い問いを立てて、テーマを選定し、俯瞰力を用いて、論文の構成を決定します。そして、分析力を用いて、論文の内容を緻密にし、論理・表現力を用いて、説得力のある文章を執筆します。このように、4つの力の集大成が卒業論文なのです。



経済学部で身につく4つの力

「自ら問いを立てて分析できる」人になってほしい。これが経済学部教員の思いです。そのための機会となるカリキュラムを用意しました。もちろん、カリキュラムの学習だけでなく、大学生活を送る中での様々な体験も、積極的に取り組めば、そのような人になるための一助になるでしょう。このような人になるためには、どのような力をつけられればよいのでしょうか？それは次に示す四つの力です。

分析力

経済学独自のものの見方や考え方、統計分析のためのスキルを駆使して、緻密に考えることができる力

論理力

分析力に基づいて、物事を客観的にみることができ、加えて理屈で物事を考えることができる力

俯瞰力

論理力が身につくことで、ある事象と別の事象とは、ある着眼点から似ているのではないかという風に、物事を大づかみにとらえることができる力

洞察力

俯瞰力を手に入れることで、物事の本質を見抜くことができる力、ひいては、今後どのようになるかを先読みすることができる力

3年生の段階では、分析力や論理力は、そこそこ身につけているものの、俯瞰力や洞察力は身に付き始めているレベルだと思います。そこで、それらの力を定着するために必要なものが卒業論文です。

卒業論文の執筆には、上記の4つの力が必要不可欠です。卒業論文の作成に試行錯誤する経験を通じて、分析力や論理力を確かなものにし、俯瞰力と洞察力を身に付けて社会へと巣立ってほしいと願っています。

VOICE

より高い次元の安心を
誰もが享受できる社会を実現したい

田中 天馬 さん
経済学部4年生
愛知県立刈谷高等学校出身



1年生、2年生の授業を通して、経済学の基礎的な知識、経済学のもの見方や考え方、そして「分析力」を身につけました。幅広い分野を学ぶことによって多角的な視点を持てるようになったと感じています。

大学入学後に始めた学生野球の審判活動において、経済学の考え方が活かした経験もあります。正しく判定するためにはポジショニングが重要ですが、どのポジショニングにもプラス面とマイナス面があり、最適な選択をするために「洞察力」を磨く必要がありました。ここに、何かを選択する際に発生する損失や諦めた選択肢のメリットも費用として考え、選択を最適化するという経済学の機会費用を考慮した考え方が活かしました。

ゼミナール大会で「論理力」も身につけました。分析結果を論文で的確に伝える能力と簡潔にプレゼンする能力です。就職活動では、身につけた「論理力」を活かし、自分の信念や考えを相手に伝えるための表現を考えた結果、自分を正しく知ってもらうことができました。

「俯瞰力」は3年生のゼミ論文で身につけました。タイヤ業界では、摩耗したタイヤを修繕して再利用するリトレッドタイヤが注目されています。このタイヤは環境負荷を軽減させますが、普及のためには膨大な費用がかかります。そこでリトレッドタイヤによる環境負荷軽減とタイヤ製造企業の利

益向上の両立が可能となる条件を「俯瞰的」な視点から研究しました。このような技術の普及は循環型経済の構築に繋がります。卒業論文は「俯瞰力」や「論理力」を活かしてゼミ論文を応用し、企業が環境に配慮した技術を取り入れることが循環型経済の実現にどのように結びつくのかについて、タイヤ以外の耐久財産業にも焦点を当てて研究する計画です。

将来的には、より高い次元の安心を誰もが当たり前享受できる、豊かな社会を実現するために奔走したいと考えています。そのために、人々の生活の基盤を支えるインフラの会社で活躍する中で社会の課題を広くつかみ、何が求められているかを常に考え続けたいと思います。



新聞記事の「先」にある変化を
洞察する力も身についた

木坂 美月 さん
経済学部4年生
石川県立金沢泉丘高等学校出身

経済史、政策論、財政、金融、あらゆる角度から経済について学んだことが「俯瞰力」の向上にもつながりました。

産業組織論の講義を通して「洞察力」も身につけました。新聞記事を読むときには、経済状況から競争優位の変化を予測したり、製造方法の変化から企業の動向を予測したりと、書かれていることの先にある変化を考えられるようになりました。産業組織論では、ある条件下で企業が得る利益の分析だけでなく、経済厚生(社会的望ましさ)の分析の重要性を学びます。私は、ごみの3Rに関するボランティア活動やSDGsに関するインターンシップ経験によって、環境配慮行動による企業価値の向上を実感し、経済厚生に対して高い意識を持つことの重要性を理解することもできました。

卒業論文では、電気自動車の製造方法が自動車のモデルチェンジにどのような影響を与えるのかをモデル分析という手法によって証明し、モデルチェンジを行うべき条件と経済厚生を明らかにしたいと考えています。

将来的には、持続可能なエネルギーシステムの構築と普及によって社会に貢献していきたいです。自治体や地元企業と関わりながら自身の知見を広げ、得た知見を複合的に活用しながら地域課題の解決をすることで世の中に新たな価値を与えることができると考えています。

理論経済学や統計学の講義を通して「分析力」を身につけることができました。ミクロ経済学やマクロ経済学は経済学の事象を分析する土台であり、応用分野を学ぶ際に足がかりとなりました。統計学ではデータをグラフや表を用いて見やすくする手法を学び、自身の分析のみならず相手に分析結果を伝える際にも大いに役立ちました。就職活動の中でIR情報の分析を行い、同じ業界の企業同士の特徴を、利益率や資本構成の比較から理解できたのも、身につけた「分析力」のおかげです。

「論理力」は基礎演習の授業で培った知識を活かして、さまざまな授業のレポート課題に向き合ううちに身についたと感じています。理論経済学、

希望の進路を切り拓く

経済学部ではキャリア教育に注力しており、学生がそれぞれの希望の進路に進むための支援を行っています。

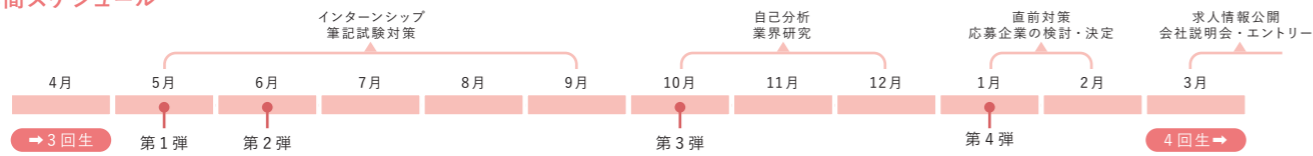
メントレ

経済学部就職活動応援企画

社会の第一線で活躍する卒業生と協力し、学生の就職活動を組織的に支援します。

「自己の価値を社会の中でどう活かすか」について考える経済学部独自のキャリア企画であり、年間を通して実施しています。とくに、例年1月に開催されるOBOG面接会では、経済学部同窓会の支援のもと、2日間にわたって全国から多数の卒業生を招き、自己分析の深掘り、エントリーシートの添削、面接の指導を行います。先輩だからこそできる熱血指導により、参加者は就職活動において抜群の成果をあげています。社会の第一線で活躍する卒業生と協力し、学生の就職活動を組織的に支援しています。

年間スケジュール



メントレ第1弾・第2弾

学びと就職活動編、学びと自己分析編



学びと就職活動の関係性や自己分析の仕方について学びます。

メントレ第3弾

学びとES編



大学での学修という視点から、ES（エントリーシート）の書き方について学びます。

メントレ第4弾

学びと実践編（OBOG面接会）



多数の卒業生を招き、2日間にわたって模擬面接や、ES（エントリーシート）作成の指導を行ってまいります。

※過年度の例です。実施回数・内容は年度によって異なります。

VOICE

学生生活で身につけた力を就職活動で活かせる



山の中里奈さん
経済学部4回生
埼玉県立浦和第一女子高等学校出身

メントレは、学部独自の企画で他では得られない、より深い内容の情報を得られると思い参加しました。特に印象に残っているのは第1弾「学びと就職活動編」です。就職活動初期で、自分は一体何がしたいのか、どうすれば先の見通しが立つのかという不安の中にいた時でした。そこで「目の前の学生生活の充実がその後の就職活動につながる」とのお話を聞いたことで、その後はゼミ活動や課外活動に迷いなく邁進できるようになり、就職活動では、実際にそれらの活動の経験や身につけた力を大きく活かすことができました。

メントレに参加する以前の私は、興味を持ったことに

手あたり次第取り組んでいました。参加後は、さまざまな経験の中から、共通すること、大切にしていたことを考え、目標を明確化できるようになりました。他の参加者と話すことで自分の現状を把握したり、不安を共有したりできたのも有意義でした。

将来はITの面から社会課題の解決に取り組みたいと考えて就職活動を行いました。事業領域が幅広く、さまざまな業界との横断的な取り組みにも挑戦できると考えて志望した企業に入社予定です。技術面でも経験を積み、新たなビジネスモデルやソリューションを提供できる人になりたいと考えています。

専門キャリアプログラム

高度な専門性を求められる分野に関して、専門的キャリアの意識付けを行うために、2つのプログラムを設置しています。学びの集団を形成し、難関試験に挑む学生を支援します。

財務・会計プログラム

公認会計士や税理士、国税専門官、企業の財務担当職など高度な専門職を目指す人材を養成するプログラムです。簿記3級・2級の資格取得を目指す正課科目を用意しており、会計系難関資格取得へのステップアップも可能です。また、税務・会計のスペシャリストを養成する大学院経済学研究科「税理・財務コース」への進学の道も選択肢となります。

公務・行政プログラム

行政において求められる知識と能力を高めるとともに、高い志を持って公務に携わることが出来る人材を養成するプログラムです。学内で開講されるエクステンションセンター主催の公務員講座と連携しながら、国家公務員や地方公務員等の進路を目指します。学修状況に応じて、一部の講座を特別奨励生として受講することも可能です。

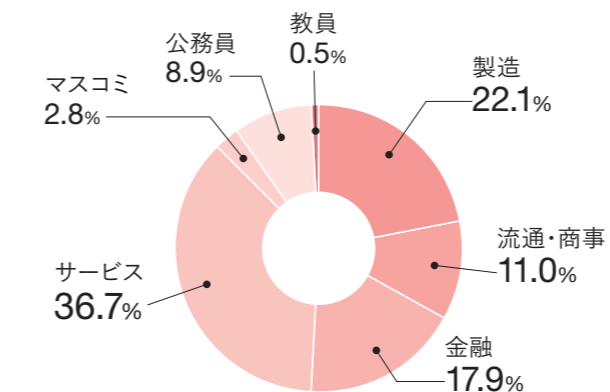
体系的な国際教育 G-ALPs | Global and Active Learning Programs

G-ALPsはグローバルな視野を持って自らの目標（=峰）に挑戦する学生を支援する経済学部の国際教育プログラムです。正課授業では、外国語科目はもちろんのこと、経済学の専門科目についても英語や中国語で学べるカリキュラムを用意しています。さらに、経済学部独自の海外留学プログラムについても充実化をはかっています。また、正課外の取り組みとしては英語ディベートや国際的なキャリアを意識した講演会、オンラインでの国際交流等を予定しており、正課内外において学生を支援します。



就職状況

2022年度卒業生 業種別進路決定状況



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

2022年度大学院進学先例

立命館大学大学院	慶應義塾大学大学院
京都大学大学院	早稲田大学大学院
一橋大学大学院	明治大学大学院
東京都立大学大学院	サウサンプトン大学大学院（イギリス）ほか

2022年度公務員決定者数

国家公務員: 25名 (総合職(総務省)、一般職、国税専門官、労働基準監督官、裁判所職員(総合職))

地方公務員: 32名 (滋賀県、京都府、大阪府、東京都 等)

2022年度公認会計士合格者数

13名(校友等含む) / 立命館大学* 54名(校友等含む) *全国5位 西日本私大1位

2022年度卒業生 進路・就職先一例(50音順)

有限責任あずさ監査法人	(株) 滋賀銀行	日本アイ・ビー・エム(株)	三菱重工業(株)
NHK	東京海上日動火災保険(株)	日本生命保険相互会社	(株) 三菱UFJ銀行
花王(株)	有限責任監査法人トーマツ	(株) 日本総合研究所	(株) 村田製作所
川崎重工業(株)	豊田通商(株)	野村證券(株)	楽天グループ(株)
関西電力(株)	NTT西日本	富士通(株)	(株) リクルート
(株) キーエンス	西日本旅客鉄道(株)	本田技研工業(株)	国家公務員総合職(総務省)
京セラ(株)	(株) 日本政策金融公庫	(株) みずほフィナンシャルグループ	国家公務員一般職(金融庁)
(株) クボタ	日本郵政(株)	(株) 三井住友銀行	国税専門官
(株) サイバーエージェント	(株) ニトリ	三井住友信託銀行(株)	地方公務員(上級職)